



並木中等story

令和5年1月26日号

人の言動は4つの床から(3)

今日も教育の専門家木下晴弘先生の講義から学んだ内容です。“人の発する言葉や行動の源は4つの床にある”と説明しました。次の4つです。



①愛されたいという床

②防衛反応の床

③自分に対する慈愛の床

④他人に対する慈愛の床

今日取り上げるのは、③自分に対する慈愛です。美味しいステーキがありました。しかし、これを食べると病気になってしまうとします。欲で行動する①であれば、“すべて食べてしまおう”となります。自らの身体のことを考えて行動をする③の立場からは“今は我慢しよう”ということになります。真の大切さを考え

られるのは大切です、人は欲に流されることがあります。皆さんはこのような時にどう対応しますか。

同様のことを別の視点でみます。④他人に対する慈愛の対応です。これも難しい対応になります。ステーキを食べ過ぎると病気が悪化する人に対して、「ステーキを食べるのは諦めなさい。」とあなたは言えますか。その人のことを真剣に心配するなら、④の床からの発言でステーキを食べないように話すでしょう。しかし、彼から嫌われたくない、彼に反発されたくないといった気持ちがあったら、①や②の床からの行動になり、反対はしないでしょう。このように**発言の背景には自らの心の強さ、弱さがある**のです。

《祝 JA共済全国書道コンクール文部科学大臣賞！》

令和4年度JA共済全国小・中学校書道コンクールにおいて、本校1年八十島さんが文部科学大臣賞を受賞し、全国表彰を受けることになりました。

おめでとうございます。